



家づくりアイデア集

地域に根ざした八潮らしい街並みづくりのコンセプト



家族
のつながり

コミュニティの最小単位とも言える『家族』。家族同士のコミュニティを育みやすいアイデアを家づくりに取り入れることで、家族のつながりを深めます。

地域
のつながり

向こう三軒両隣の方々とコミュニティを育むことは、安心して安全な環境づくりにも寄与します。豊かで明るい地域コミュニティをつくるようなアイデアを取り入れることで、地域のつながりを深めます。

街並み
のつながり

魅力的でステキな街並みは、いつしか私たちの大きな誇りになるのではないのでしょうか。通りや街区など「街並み」を意識したアイデアを取り入れる事で、街並みのつながりを深めます。

家づくりのコンセプト

「八潮街並みづくり 100年運動」において実施したリサーチやケーススタディをもとに、それらの特徴やキーワードを整理・抽出し、「地域に根ざした八潮らしい街並みづくり」のコンセプト、そして家づくりアイデアとしてまとめました。



家

づくりアイデアと建築物等のデザイン要素

家づくりアイデア	建築物等のデザイン要素							建物のデザイン				外構のデザイン			
	屋内空間のつながり	屋根並みの美しさ	軒先・庇の作り方	縁側・テラスの作り方	外壁等の素材	開口部・玄関等の作り方	壁面の位置	周辺と調和した色彩	屋外設備・工作物等の作り方	門・アプローチ・舗装等の作り方	垣・柵等の作り方	植栽の植え方			
家族のつながり → p.30 ① 住み心地の良い空間づくり 家族みんなが豊かにつながるためのアイデア	p.30					p.30									
地域のつながり → p.32 ② おもてなしの空間づくり おもてなしや魅力溢れるつながり空間のアイデア			p.32			p.32			p.32						
③ くつろぎの空間づくり 快適で憩いの場となる屋外空間のアイデア				p.34				p.34							
④ 緑のうるおい空間づくり 緑溢れ、誰もが癒されるやさしい空間づくりのアイデア											p.36	p.36			
街並みのつながり → p.38 ⑤ 圧迫感のない街並みづくり 連続性とゆとりのある街並みづくりのアイデア							p.38				p.38				
⑥ 一体感のある街並みづくり 街並みの一体感を演出するためのアイデア									p.40	p.40					
⑦ 表情豊かな街並みづくり 愛着と誇りを持てる家の表情づくりのアイデア		p.42	p.42		p.42			p.42							



家族のつながり

住み心地の良い空間づくり

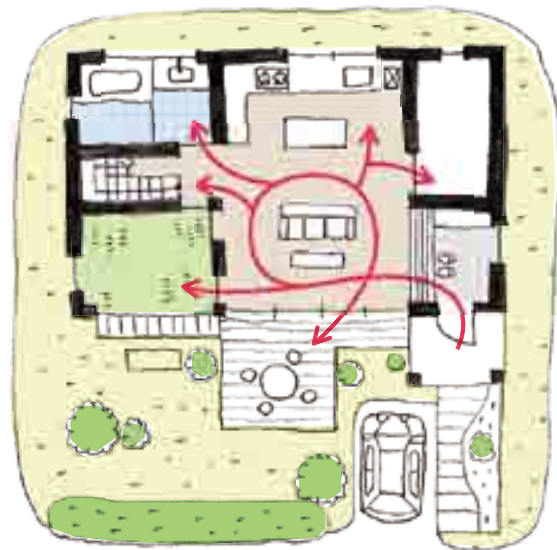
家の中に、ちょっとした「つながり」をつくる。屋内の部屋どうしや、周辺環境との「つながり」に気を配ることは、住み心地の良い空間づくりを育む大切な考え方です。

ちょっとした工夫で、音、光、匂いなど、家の中の雰囲気伝わり、家族の表情がつながる。そんな「住み心地のよい空間づくり」のアイデアをご紹介します。

屋内空間のつながりに配慮しよう！

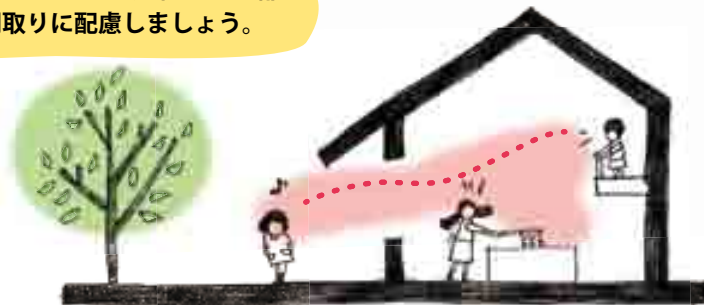
建物のデザイン

リビングやキッチン、寝室、子ども部屋など、異なる機能の部屋同士をうまく配置することが、豊かな内部空間をつくるためのポイントの一つです。部屋をただ「配置」するだけでなく、部屋どうしの「つながり」を意識することで、より豊かな屋内空間をつくりましょう。



平面の作り方のアイデア

さまざまなアクセスや回遊性を生む部屋の配置・間取りに配慮しましょう。



断面の作り方のアイデア

吹き抜けやスキップフロアなどで断面構成に変化をつけ、部屋同士につながりを持たせましょう。

日当たりや眺め、風の通りに配慮しよう！

建物のデザイン

住み心地の良い空間づくりには、日当たりや通風、窓からの眺めなど、敷地周りの自然条件をよく読み取り、うまく空間づくりに活かすことが大切です。自然環境と調和することで、より快適な屋内環境をつくりましょう！



窓・開口部のアイデア

窓や開口部を設ける際には、眺望や通風、日照に配慮しましょう。



木を植える場所は、南側がオススメ！
特に落葉樹は夏には木陰をつくり、冬は日当たりバツグンです。





「2階とのつながりを感じる」

リビングに吹き抜けを設けることで、開放感があり2階とのつながりを感じることの出来る空間となっています。(市外)



「部屋を区切らずにつなげてみる」

部屋と部屋を壁で区切るのではなく、ちょっとした段差などでゆるやかにつなげることで、空間の機能は分けながらも、光と空気と雰囲気がつながる空間になります。(市外)



「屋外との一体感」

庭に面して大きな開口部を設けることで、屋外と屋内が一体的に感じられ、風が室内を吹き抜ける気持ちのいい空間となっています。(市外)



地域のつながり

おもてなしの空間づくり

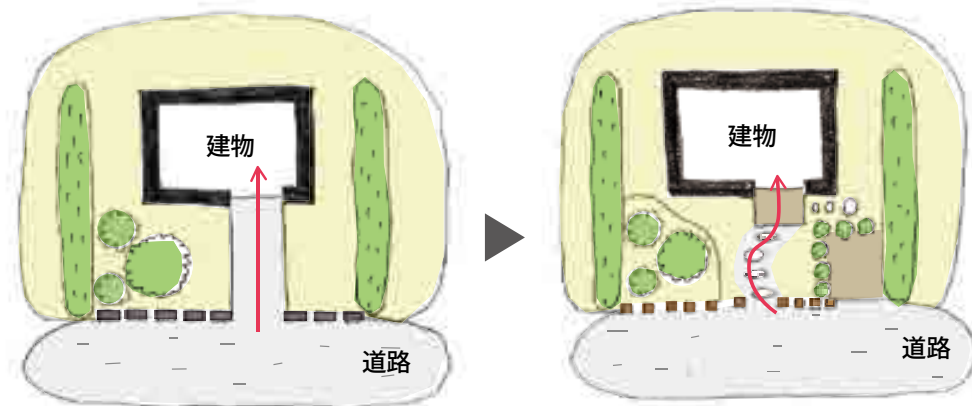
玄関や門、アプローチなどの部分は、お客様をお迎えする重要な要素の一つです。

訪れた人が思わずうっとりするような、おもてなし空間のアイデアや、魅力的な演出のあふれる「おもてなしの空間づくり」のアイデアをご紹介します。

魅力的なアプローチづくりをしよう！

外構のデザイン

道から家までのアプローチ部分は、大事なお出迎えの空間です。アプローチの向きや舗装、門等に配慮し、家に入るまでワクワクするようなお出迎えの空間をつくりましょう。



門の作り方のアイデア

門柱など、入り口を明示するしつらえを設けましょう。



アプローチの作り方のアイデア

高低差、曲線、舗装材の種類などに配慮し、空間に変化をつけ、楽しい空間を演出しましょう。

お出迎えの玄関づくりをしよう！

建物のデザイン



玄関廻りのアイデア

玄関にはできるだけ広い庇や軒下の空間を設け、鉢植え、フラワーポット、手水鉢などを配置し、玄関先を演出しましょう。



「アプローチを植栽で彩る」

植栽や舗装、入り口を明示する門柱などを工夫し、魅力的なアプローチづくりをしています。
(市外)



「お出迎いの玄関づくり」

通りと一体的に感じられるような植栽、舗装などの工夫で、省スペースでも開放的な玄関づくりをしています。
(市外)



「ゆったりとした軒下空間」

広々とした開放的な軒下の空間は、まちに落ち着いた印象を与えるだけでなく、憩いの場としても最適です。
(市内)



くつろぎスペースをつくろう！

建物のデザイン

外構のデザイン

屋内外をつなぐ縁側やテラスなどを取り入れることで、外での作業中にちょっと一息ついたり、お隣さんと世間話をするスペースになります。



地域のつながり

くつろぎの空間づくり

日向ぼっこをしたり、子どもと遊んだり、ペットと戯れたり。家の周りや、庭先でちょっと座ったりできるスペースがあると、日々の暮らしがもっと楽しくなると思いませんか？

快適で憩いの場となる「くつろぎの空間づくり」のアイデアをご紹介します。



昔は縁側でお客様をおもてなししていました。縁側は、友人やお隣さんが気兼ねなく集まることが出来るスペースです。



縁側、テラスの作り方のアイデア

屋内外をつなぐ箇所に、縁側やテラスなどのくつろげるスペースを設けましょう。

庭先にベンチやガーデンチェアを設置するだけで、建物の外の空間にくつろぎスペースが生まれます！



ベンチ、ガーデンチェア
のアイデア

屋外の庭先には、ベンチやガーデンチェアなどを設置し、くつろげるスペースを創出しましょう。



「テラスを活用する」

テラスをリビングと一体的に設けることで、室内の一部として使ったり、庭から直接出入りしたりと様々な使い方をすることが出来ます。(市外)

「玄関にちょっとした工夫を」

玄関わきにベンチや木陰を用意することで、一休み出来るスペースが生まれます。(市内)



「農地を囲んでくつろぐ」

日本工業大学「ハウチメリット」の住宅モデル提案。放置された農地(=ハウチ)を地域資源と捉え、それらを囲むように縁側やテラス、土間などのくつろぎスペースを設け、コモンスペースを創出しています。



地域のつながり

緑のうるおい 空間づくり

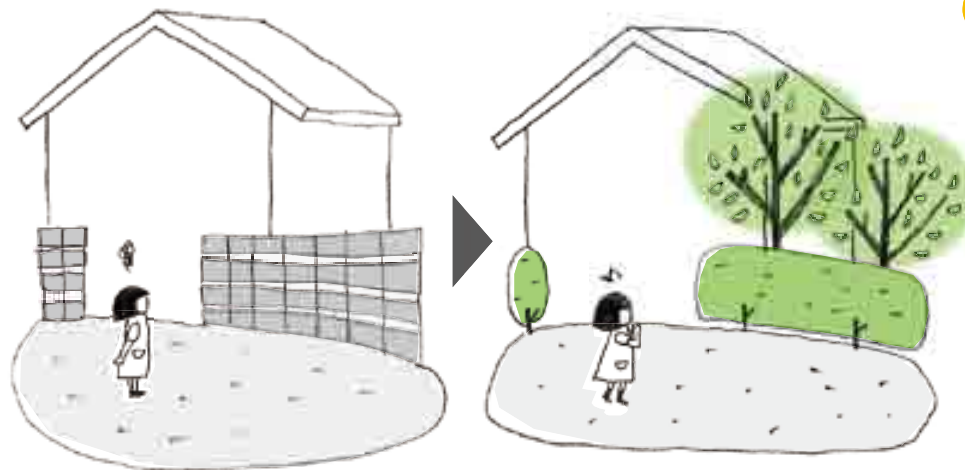
緑の感じられる空間は、誰もが癒されるやさしい空間です。自分の家はもちろん、それが周りの建物と連なることで、歩いて楽しい、緑のうるおいあふれる街並みが出来上がります。

そんな、「緑のうるおい空間づくり」のアイデアをご紹介します。

見て楽しい緑をつくろう！

外構のデザイン

視界に入る緑の量を表す「緑視率」という指標があります。緑をただ増やすだけではなく、街並みへの波及効果が高くなるよう、効果的な緑化を心がけてみましょう。

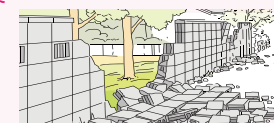


沿道部分への植栽のアイデア

通りから見える箇所には、出来るだけ中高木を植え、緑が多く感じられる通りを演出しましょう。



効果的に緑化することで、景観的に良くなるだけでなく、地震などの災害時でも安全・安心です。



緑のうるおいあふれる空間をつくろう！

外構のデザイン

敷地内を緑化することで、環境にやさしく、四季の移ろいを感じられる、緑のうるおいあふれる暮らしを演出しましょう！



敷地内の緑化のアイデア

芝生や低木なども用いて、敷地内の緑化面積を増やしましょう。

「沿道に対して植栽を配置する」

通りから見える箇所に中木を植え、緑を多く感じられる演出をしています。(市外)



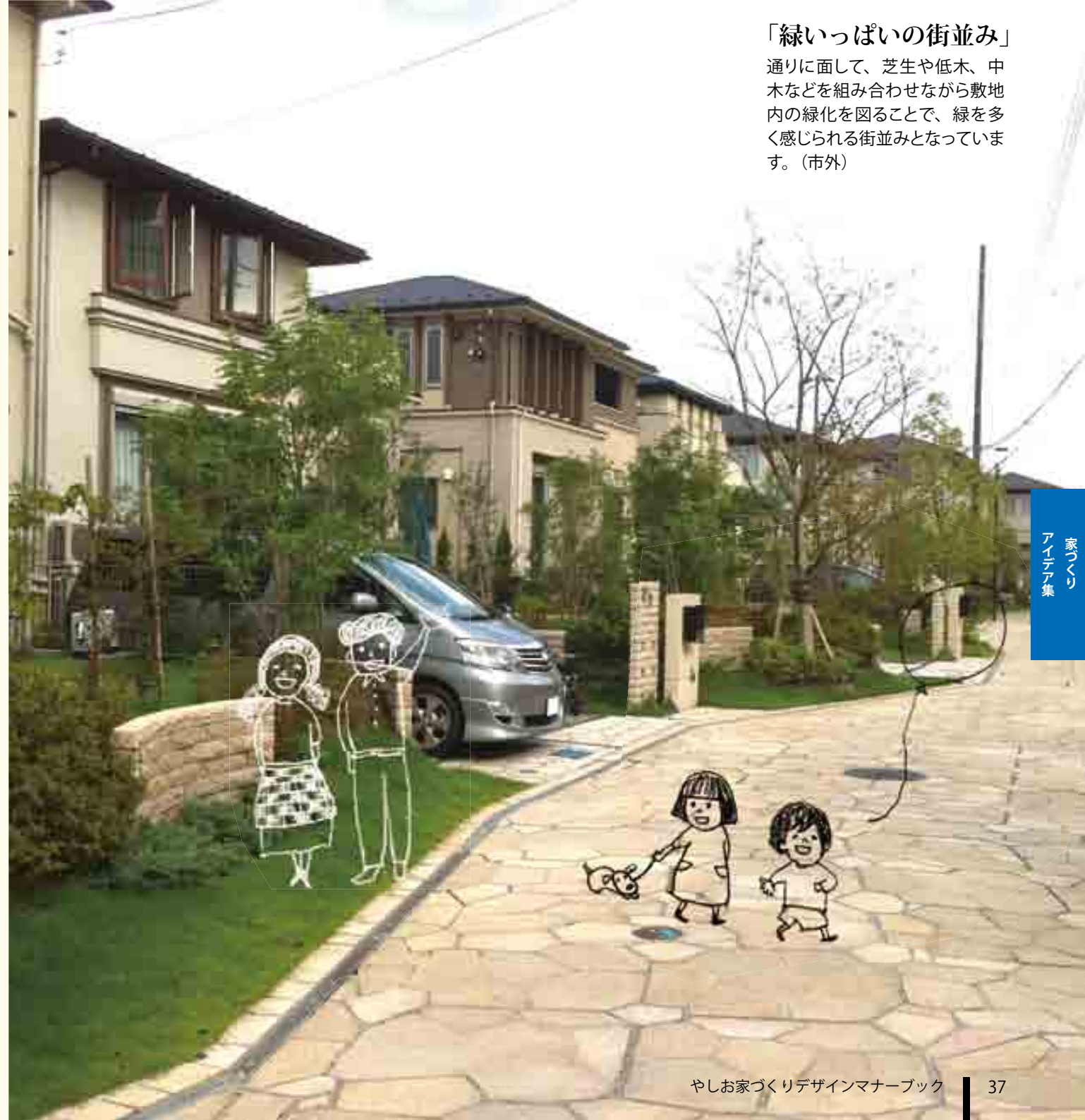
「壁面緑化でもっと快適に」

窓の外や外壁に対して壁面緑化を行うことで、室内の温度上昇を抑制する効果があり、夏場は涼しく快適に過ごす事が出来ます。(市内)



「緑いっぱいの街並み」

通りに面して、芝生や低木、中木などを組み合わせながら敷地内の緑化を図ることで、緑を多く感じられる街並みとなっています。(市外)



家づくりアイデア



街並みのつながり

圧迫感のない街並みづくり

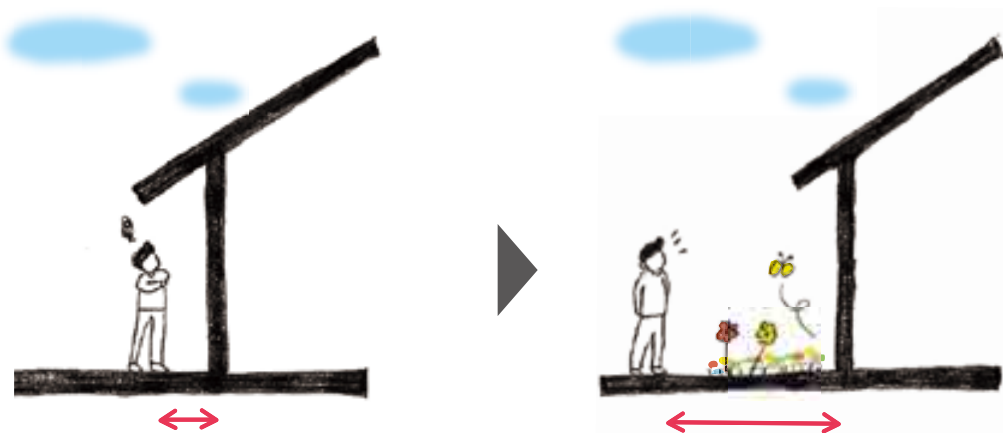
家づくりは、自分の家だけで完結するものではありません。自分の家が「街並みの一部」になったときを考え、周りの建物との関係に配慮することで、より良い街並み景観をつくり上げることができます。

歩くのが楽しくなるような、圧迫感のない街並みづくりのアイデアをご紹介します。

建物と道との関係に配慮しよう！

建物のデザイン

建物の配置は、街並みへの影響を考えるうえで重要なポイントの一つです。道路境界に目いっぱい建てると、通りに対して圧迫感が生まれます。建物の配置に配慮し、街並みの一体感や解放感を演出しましょう。



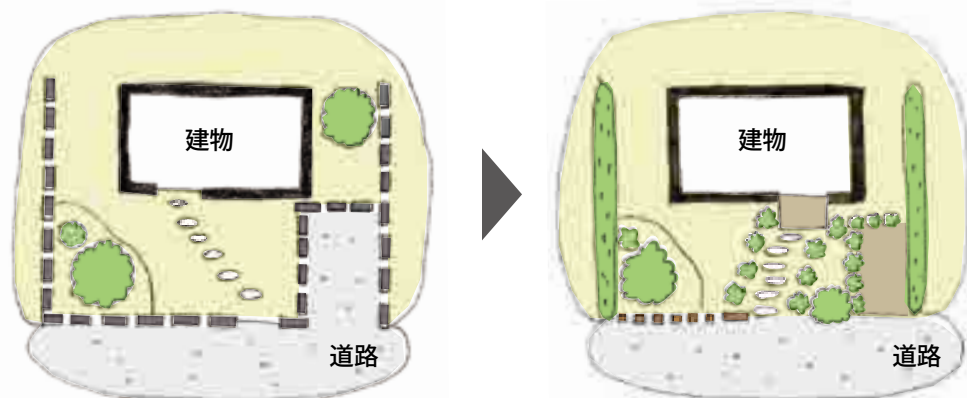
壁の位置のアイデア

建物の外壁から道路境界までは距離をとり、ゆとりある空間をつくるよう配慮しましょう。

境界部分のデザインに配慮しよう！

外構のデザイン

通りに面した境界部分のしつらえは、道を歩いてまず目に付く部分であり、街並みに大きな影響を与えます。道行く人にやさしい、まちとつながりのある境界部分をつくりましょう。



垣・柵の作り方のアイデア

接道長さに対する垣・柵の長さや高さに配慮しましょう。ブロック塀等はいわず、透過性のある自然素材を用いるように配慮しましょう。

「セットバックで圧迫感を解消」

道路境界から建物外壁までの距離を確保することで、街並みにゆとりが生まれ、空も広く見えます。(市外)



「意外と大切な敷地の境界」

木製の柵や花を植え、敷地内外のつながりに配慮しています。(市外)



「つながりに配慮する」

透過性の感じられるよう植栽を配置し、沿道とつながりのある空間を創り出しています。(市外)

家づくりアイデア



街並みのつながり

一体感のある街並みづくり

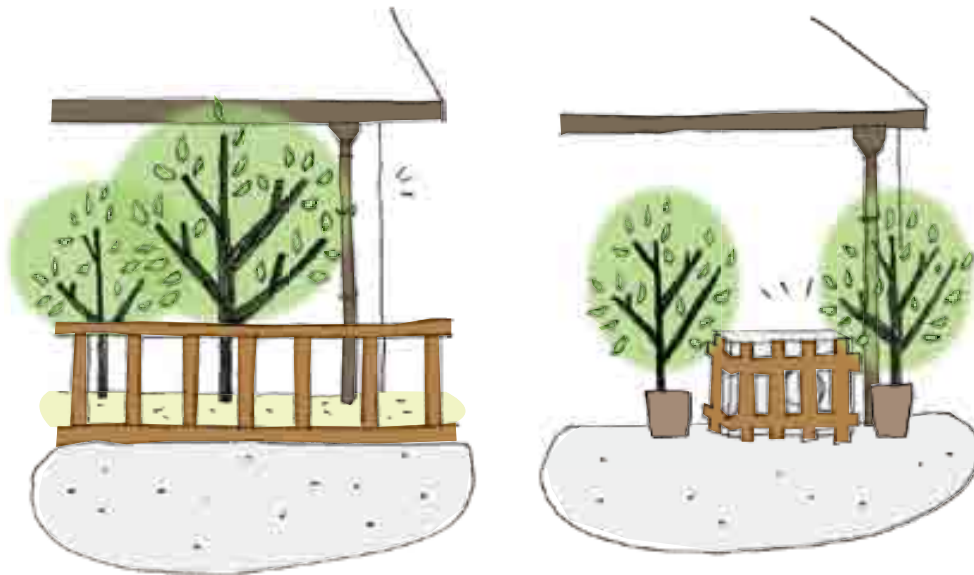
「神は細部に宿る」という言葉がありますが、家づくりでも、細部まで心配りがされていると、街並みとしての一体感がより増して見えます。

そんな、「一体感のある街並みづくり」を演出するためのアイデアをご紹介します。

細かい部分の見え方に配慮しよう！

外構のデザイン

室外機や雨樋など、家づくりには様々な「細かい部分」が表れてきます。建物の表情に影響を与える細かい部分の見え方に配慮し、家の表情や街並みの一体感をアップさせましょう。



屋外設備機器や雨樋・配管の配置のアイデア

できるだけ通りから見えにくい箇所に設置するか、目隠しの工夫や建物の色彩と調和させるなど、デザイン性に配慮したものとしましょう。

まちを照らす灯りをつくろう！

外構のデザイン

家づくりでは、昼の表情だけでなく、「夜」の表情を考へることも大切です。屋外の照明設備の設置に配慮し、夜も安全で、歩いて楽しい魅力的な通りを演出しましょう。



屋外照明機器のアイデア

通りを照らすような屋外照明設備を設置しましょう。



照明の少ない通りは、とても危険です。夜のまちを照らす灯りは、安全な街づくりにもつながります。見た目だけでなく、安心できる通りを目指しましょう！



「細かな部分にも 気遣いを」

空調の屋外設備機器に木製の目隠しを設け、見え方に配慮しています。(市外)



「家の表情を考える」

雨樋を外壁の色に合わせて設置し、家の表情の邪魔にならないように配慮しています。(市外)



「夜間も安全で魅力的な通りに」

外に漏れる光や屋外照明設備の設置に配慮している街並みです。なんとなく暖かく、夜間も安心して歩くことができる空間です。(市外)



「絵になる夜間景観」

通りに面した窓から漏れる光と、足元の照明が、夜でも歩きたくなる夜間景観をつくり出しています。(市外)

家づくりアイデア



街並みのつながり

表情豊かな街並みづくり

長く愛着を持って住み続けるための家づくりでは、住みやすさはもちろんのこと、家の「見た目」も重要な要素です。自然素材の活用や、ちょっとしたしつらえのアクセントをつけることで、住宅の表情はより豊かになります。

そんな、愛着や誇りを持てるような「表情豊かな街並みづくり」のアイデアをご紹介します。

建物の表情に配慮しよう！

建物のデザイン

通りに面した外壁は、家の表情となる部分です。自然素材の活用や、アクセントとなる庇、色彩等に配慮し、思わず外から眺めたくくなるような家の表情づくりをしましょう。



軒先や庇の作り方のアイデア

表情を与えるよう、軒先や庇の出の長さを確保しましょう。



外壁作り方のアイデア

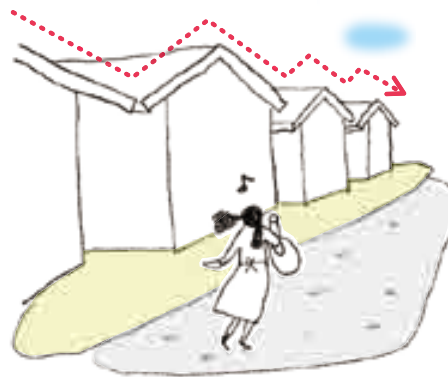
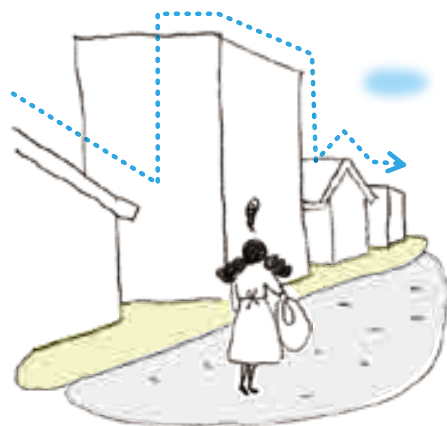
周囲の街並みから突出した色彩を用いないよう配慮しましょう。外壁の一部に自然素材(木材等)を用いましょう。



八潮市景観計画では、市街地の色彩基準も定められています。親しみを感じる家づくりを目指しましょう！
URL:<http://www.city.yashio.lg.jp/5956.htm>

屋根のカタチに配慮しよう！

建物のデザイン



屋根の形のアイデア

周囲の建物の屋根と調和した形状になるよう配慮しましょう。

「通りに向けて表情をつくる」

壁の色や庇の位置など、お隣同士の連続性に配慮することで表情豊かな街並みになります。(市外)



「リズムのある屋根並み」

屋根の形状を揃えると、リズムのあるスカイラインができあがります。(市内)

「素材を魅せる、あたたかみのある家づくり」

バルコニーに自然素材(木材)を用い、あたたかみのある表情に仕上げている住宅の例。木材は、時間が経つほどに素材の「味」が楽しめます。(市内)



家づくりスクールとは？

『家づくりスクール』とは、八潮市で家を建てたいと思っている市民の方が受講者となり、建築を専攻する5つの大学と共に、このデザインマナーブックのアイデアを取り入れて、希望の家づくりを考えるワークショップです。

スクールでは、受講者の要望の整理から、具体的な間取りの検討まで、八潮らしい家づくりのデザインをまとめました。

デザインを行った5大学

日本工業大学

工学部建築学科
小川研究室

東京理科大学

工学部建築学科
坂牛研究室

神奈川大学

工学部建築学科
曾我部研究室

神戸大学

工学研究科建築学専攻
槻橋研究室

信州大学

工学部建築学科
寺内研究室



実践！ 家づくりレポート

今まで紹介した、家づくりアイデアを実際に取り入れるとどんな家が出来上がるのでしょうか？

ここでは連携5大学が参加する「家づくりスクール」で検討した住宅プランをご紹介します。

家づくりのステップを確認しよう

家づくりスクールでは、以下のSTEP 1からSTEP 3までの検討を行いました。詳しくはP.46以降の各大学の住宅デザインをご覧ください！

家づくりの5ステップ START!!

STEP 1
要望を整理する

まずは、どんな家に住みたい？今住んでいる場所に建てる？家族構成は？どのくらいの予算がかけられそう？

家づくりに関するあらゆる要望を整理します。



家づくりは作ってしまえばおわりではありません。

あとは、暮らしながらじっくり自分らしい、八潮らしい家づくりをしていきましょう。

STEP 2
敷地環境の読み取り

敷地の形状だけではなく、お隣さんは？歩いて行ける距離には何があるかな？日当たり、風通しは？その敷地の持つ魅力を読み取ります。



STEP 3
複数案で検討

まずは、スタディーと呼ばれる大まかなプランを複数の案で並行して考えていきます。スケッチや模型、写真なども使ってカタチにしていきます。



STEP 4
最終案

複数の案から、良かったアイデアやデザインを取り入れて、最終的に1つのプランにします。

詳細の設計を行い、さあいよいよ工事着工です！



STEP 5
住みながら

建物完成！！

工事着工



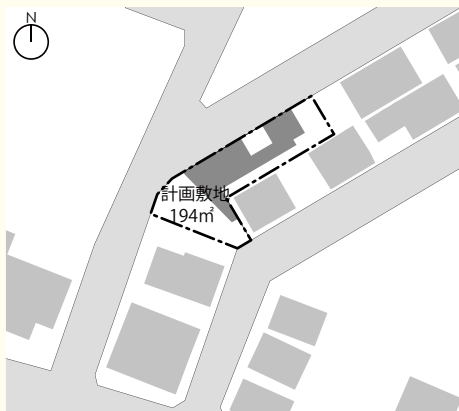


生活に自然を取り入れる

庭とつながる家

日本工業大学 工学部建築学科
小川研究室

- 屋内空間のつながり
- 屋根並みの美しさ
- 軒先・庇の作り方
- 縁側・テラスの作り方
- 外壁等の素材
- 開口部・玄関等の作り方
- 壁面の位置
- 周辺と調和した色彩
- 屋外設備・工作物等の作り方
- 門・アプローチ・舗装等の作り方
- 垣・柵等の作り方
- 植栽の植え方



Data

夫婦+子ども2人

- 敷地面積 194㎡
- 用途地域 第1種中高層住居専用地域
- 構造 木造2階建て
- 建築面積 109㎡
- 延床面積 107㎡
- 建ぺい率 56.1%
- 容積率 55.1%

お施主さんからの依頼内容

仕切りのない明るい家に!

- ・風の抜ける、仕切りのない明るい家にしたい
- ・ガーデニングの出来る庭が欲しい
- ・自慢のガーデニングが室内から眺められる、明るいリビングにしたい

南東を住宅に囲まれ、北西の道路に対して沿いながら、途中で折れ曲がり南側の道路に少しだけ飛び出すという不思議な特徴を持つこの場所。採光や通風など、限られた条件をうまく活かしながら、庭と屋内をゆるやかにつなぐ空間となっています。

庭に開いたリビングルーム

限られた敷地の中で、リビングと庭が一体的に感じられるように配置し開放感が感じられる計画としました。

リビングと庭を繋ぐデッキと土間には植木鉢やガーデニング用品が置かれ、庭とゆるやかに繋がった心地よい生活空間が生まれます。

部屋をゆるくつなげる

仕切りのない明るい室内は、風が通り抜ける気持ちのいい空間です。

1階に南向きの庭、そこから連続するリビングルーム、中庭を挟んで夫婦の寝室、吹き抜けを階段で上がり2階に子ども部屋と水廻り、その先に広いベランダというように、部屋を仕切ら

ずに庭からゆるやかにつながっていくような空間となっています。



リビングダイニングのイメージスケッチ。
すべての空間がゆるやかにつながり、光も風も、家族みんなの視線や声も、そしてもちろん料理の香りも、みんなで楽しめます。



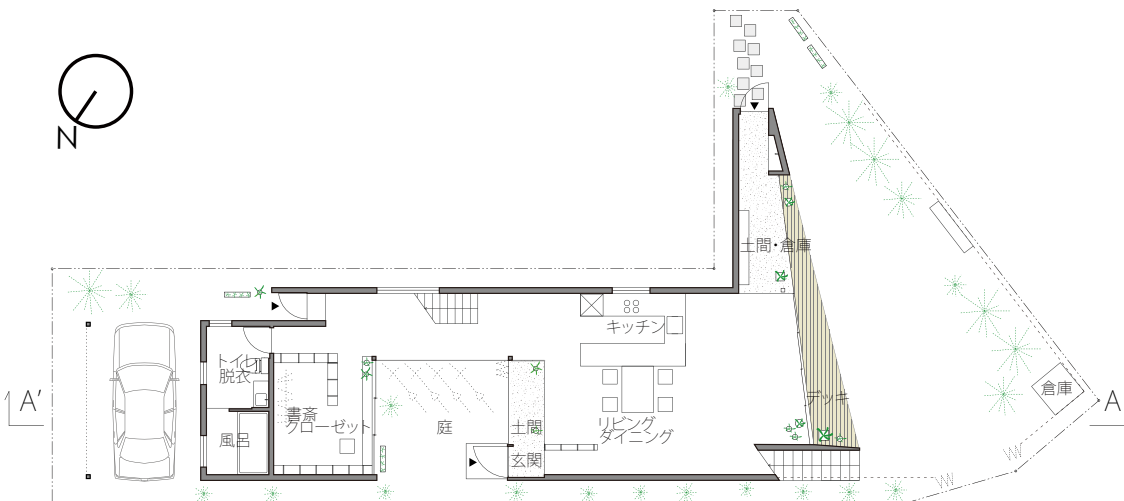
2階の階段からは、1階リビングダイニングと広く開放的なベランダが一望出来、家族や景色がつながります。



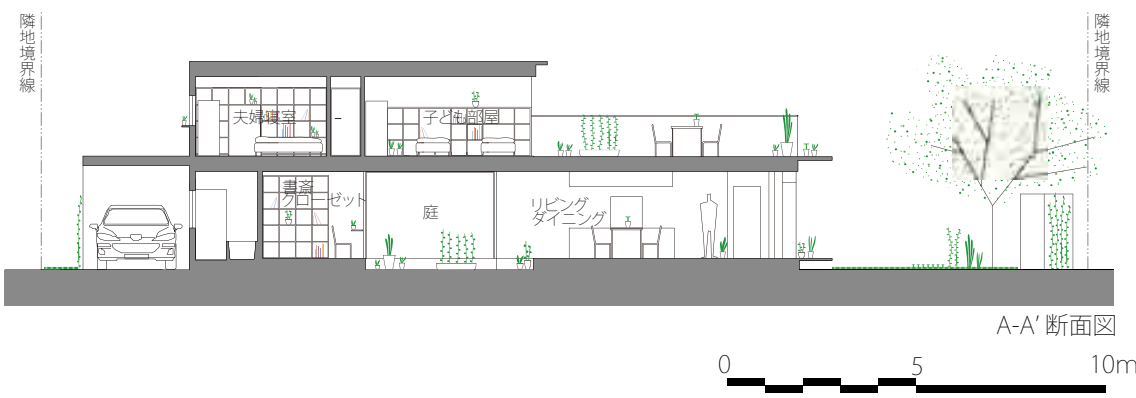
2階の高さでベランダと子ども部屋をみた模型写真。
ベランダに対して大きく開かれた子ども部屋は、毎日違った表情の空を眺めることができる、気持ちの良い空間になります。



家づくり
アイデア集



北側前面道路からみた建物外観イメージ。
大きな開口の玄関と街に開かれた庭が印象的で開放的な街並みをつくり出しています。



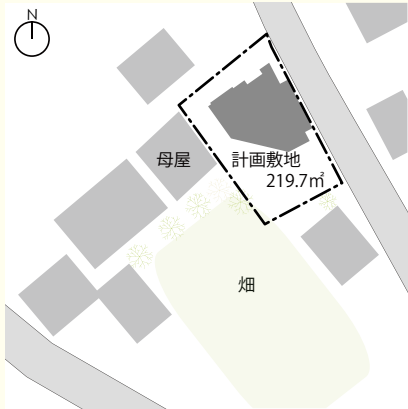


様々なつながりを創り出す

えんがわ おおきな円側の家

東京理科大学 工学部建築学科
坂牛研究室

- 屋内空間のつながり
- 屋根並みの美しさ
- 軒先・庇の作り方
- 縁側・テラスの作り方
- 外壁等の素材
- 開口部・玄関等の作り方
- 壁面の位置
- 周辺と調和した色彩
- 屋外設備・工作物等の作り方
- 門・アプローチ・舗装等の作り方
- 垣・柵等の作り方
- 植栽の植え方



Data



夫婦+子ども1人

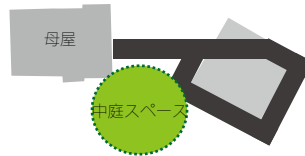
- 敷地面積 219.7㎡
- 用途地域 第1種中高層住居専用地域
- 構造 木造2階建て(増築)
- 建築面積 57.1㎡
- 延床面積 105.2㎡
- 建ぺい率 25.9%
- 容積率 47.8%

お施主さんからの依頼内容

気軽に母屋と行き来したい!

- ・今住んでいる家を残したまま敷地内に新たな住まいを建てたい
- ・リビングやダイニングとは別に客間や個室が3室欲しい
- ・光がよく通るような構成が希望

既存母屋との間に 活気ある距離をとる



建物を少し斜めに配置することで、既存母屋と増築建物の中に中庭のようなスペースをつくりました。

えんがわ 円側はこの空間に新しい魅力を与えるだけでなく、母屋との程よい距離を保つことにもつながります。

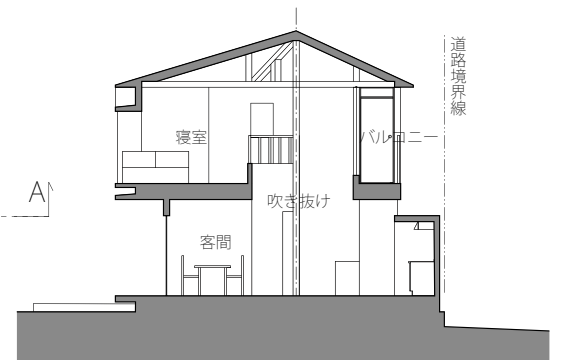
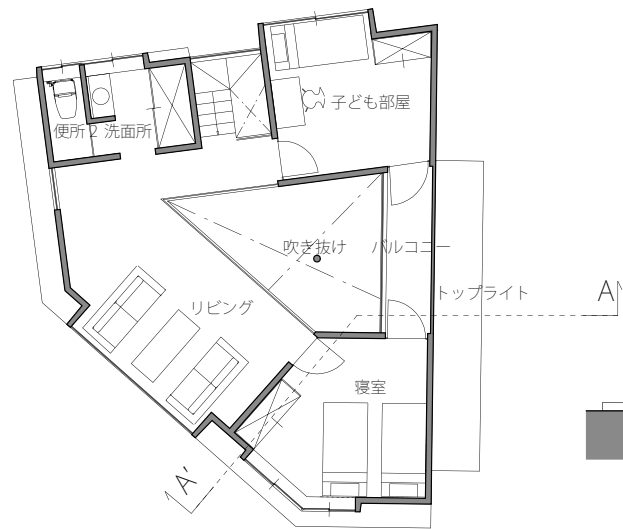
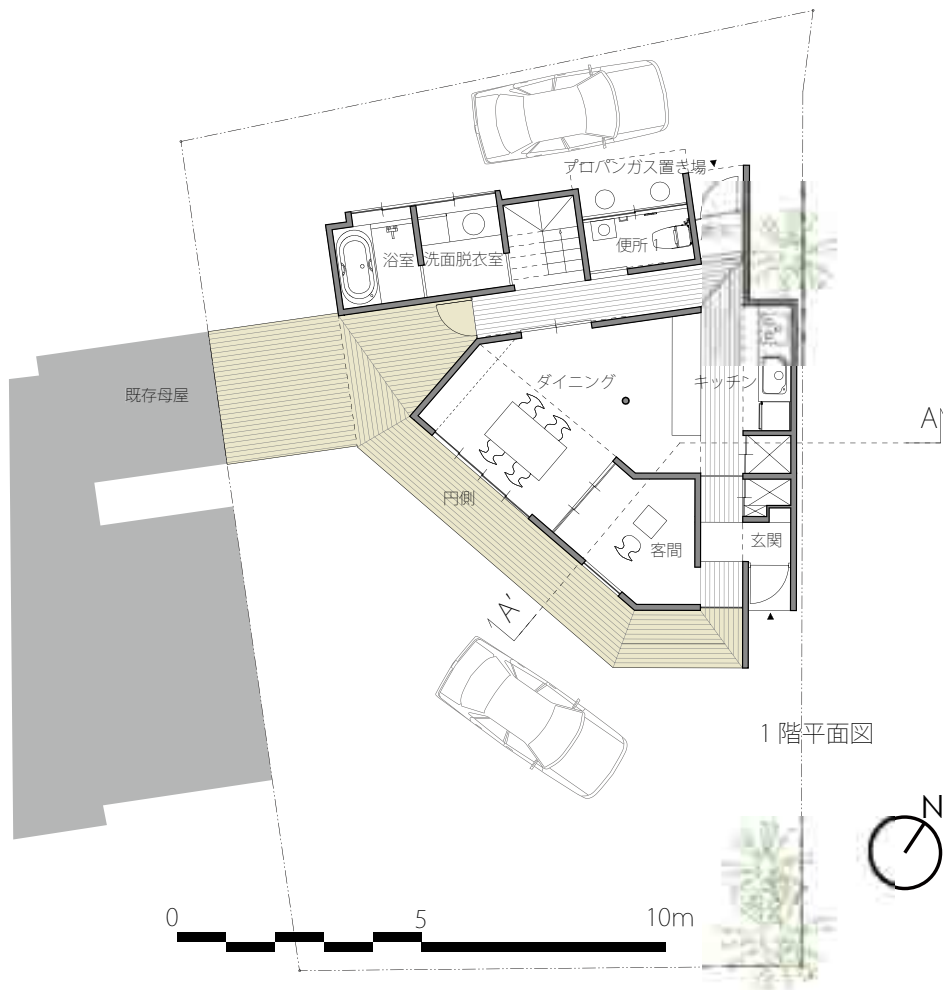
ダイニングと居間を 吹き抜けがつなぐ

家の中心に設けられた大きな吹き抜けは、2階東側に設けたバルコニーからの光を居間まで通しています。

また、ダイニングからは東西南北すべての空を眺めることができます。



えんがわ 母屋と家の間に設けられた円側には、家族や近所の人などみんなが集い、おしゃべりなどを楽しむ場になります。



キッチンからダイニングをみる。吹き抜け空間には2階から光が差し込み、明るいダイニングは家族の憩いの場となります。



家の中心に大きな吹き抜けをつくることで、1階ダイニングと2階リビングにつながりが生まれます。



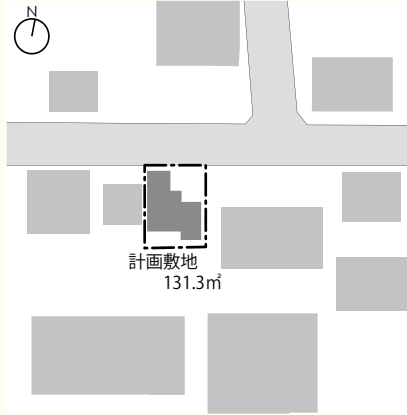


ゆるやかに空間をつなぐ

スキップフロアの家

神奈川県 工学部建築学科
曾我部研究室

- 植栽の植え方
- 垣・柵等の作り方
- 門・アプローチ・舗装等の作り方
- 屋外設備・工作物等の作り方
- 周辺と調和した色彩
- 壁面の位置
- 開口部・玄関等の作り方
- 外壁等の素材
- 縁側・テラスの作り方
- 軒先・庇の作り方
- 屋根並みの美しさ
- 屋内空間のつながり



Data



夫婦
+ 息子世帯 (子ども 1人)

敷地面積	132.3㎡
用途地域	第1種中高層住居専用地域
構造	鉄筋コンクリート造3階建て
建築面積	77.1㎡
延床面積	141.1㎡
建ぺい率	58.2%
容積率	106.6%

お施主さんからの依頼内容

日あたりの良い家に!

- ・明るいリビングが欲しい
- ・車2台分の駐車スペースが欲しい
- ・家族を感じながら料理をしたい
- ・1階に親世帯の寝室が欲しい

2世帯住宅

施主である60代のご夫婦は、約40坪の敷地に建つ現在の住まいを息子夫婦との2世帯住宅への建て替えを希望されていました。

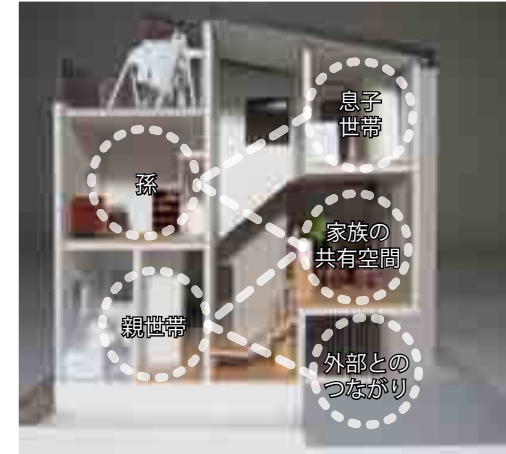
老後の生活を考え、1階に親世帯の居住スペースを確保することと、車1台分の屋根付きのガレージ（将来的には息子世帯の駐車スペースも必要）を確保するという要望がありました。

そこで、足腰への負担を極力軽減出来るよう親世帯の寝室と水廻りを1階にコンパクトにまとめ、リビング、キッチン、ダイニングについては2、3階の息子世帯と共有出来るよう、その中間に配置する「スキップフロア」の住宅としました。

2世帯をつなぐスキップフロア

上下階を結ぶ場所にある大らかな「リビング・キッチン・ダイニング」は、2世帯の生活を無理なく穏やかにつながります。次世代への移行といった長期的な時間の変化に対応出来る住宅とするための、重要な場所でもあります。

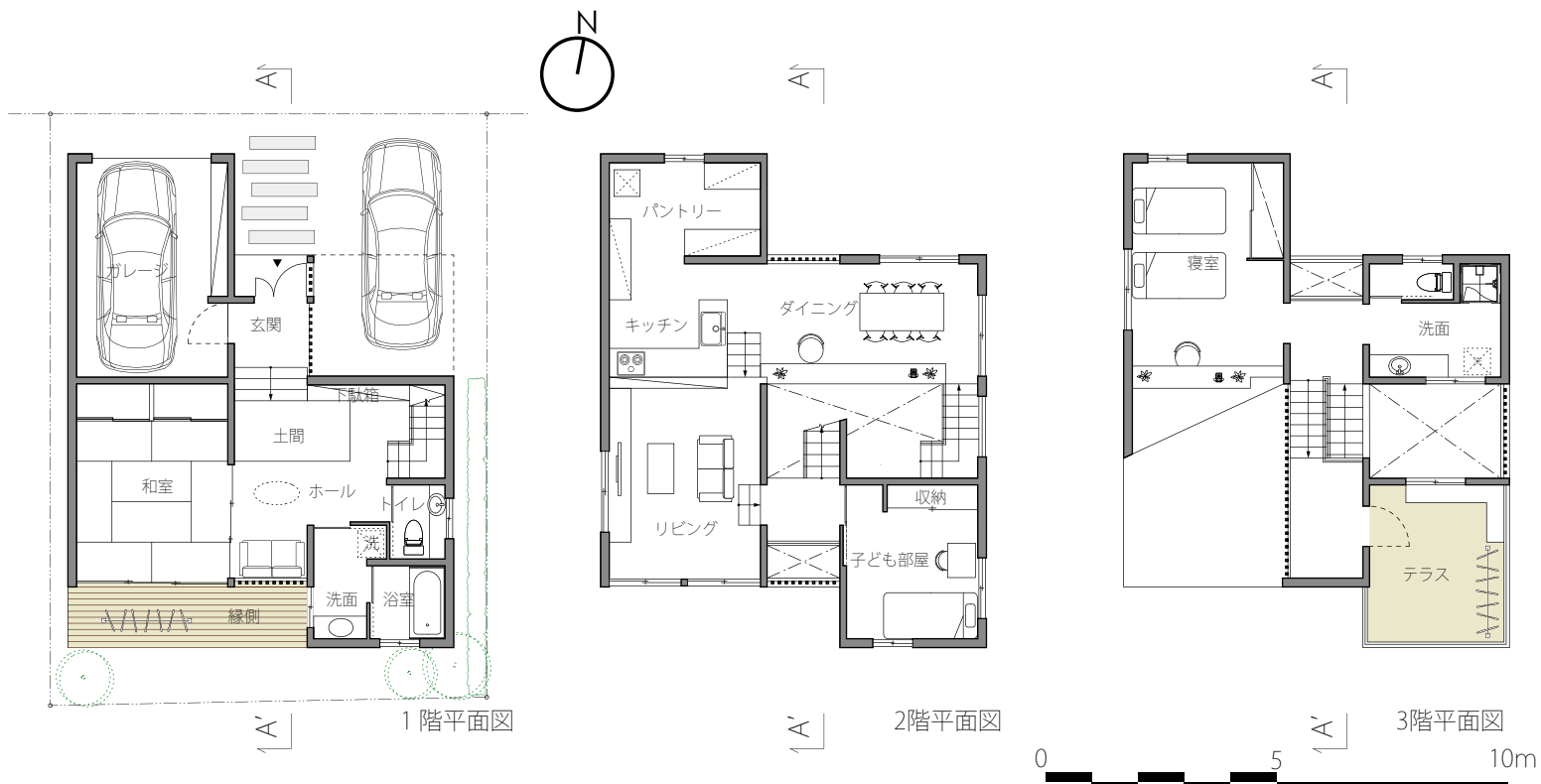
また、玄関ホールは来客時に対応出来るよう少し広めのスペースとし、おもてなし空間として利用出来るように配慮しています。



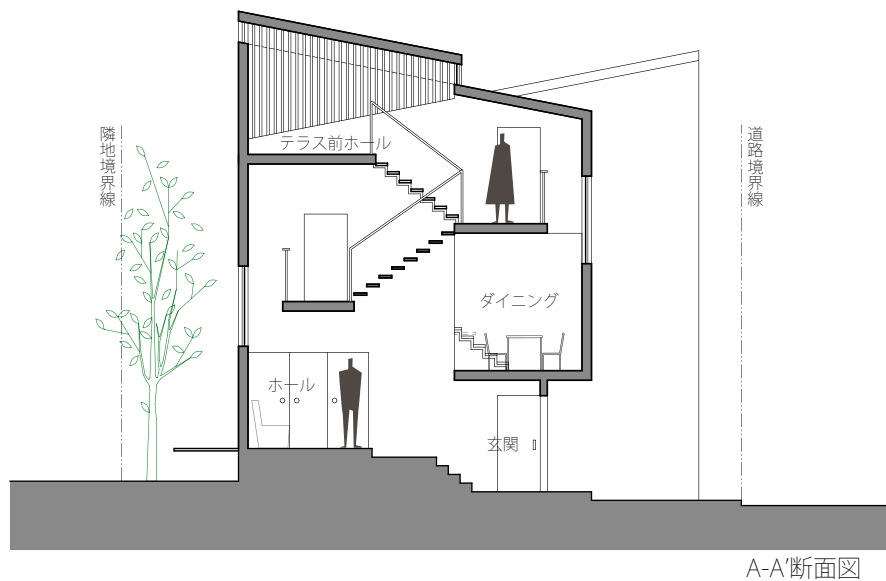
断面模型



キッチンからリビングをみる。大きな窓から陽が差し込む明るいリビングでは、家族が集い、会話を楽しみながら食事の支度をする事が出来ます。



南面の大きな窓からは、陽の光が差し込みます。片流れの屋根や、バルコニーの手すりなどで、家の表情をつくり出しています。



ダイニングからリビングをみる。部屋ごとの仕切りを設けず、ゆるやかなつながりを持った空間となっています。



玄関ホールから、ダイニングをみる。1階と2階の間のスキップフロアは、2世帯の生活をつなげる空間となっています。

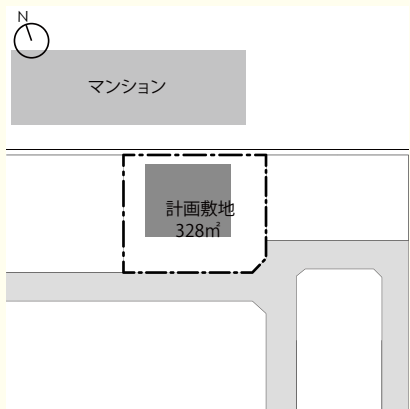


飾り棚のあるガーデンハウス

大テラスの家

神戸大学 工学研究科建築学専攻
槻橋研究室

- 屋内空間のつながり
- 屋根並みの美しさ
- 軒先・庇の作り方
- 縁側・テラスの作り方
- 外壁等の素材
- 開口部・玄関等の作り方
- 壁面の位置
- 周辺と調和した色彩
- 屋外設備・工物等の作り方
- 門・アプローチ・舗装等の作り方
- 垣・柵等の作り方
- 植栽の植え方



Data



夫婦+子ども1人+愛犬

- 敷地面積 328㎡
- 用途地域 第一種住居専用地域
- 構造 木造2階建
- 建築面積 78.09㎡
- 延床面積 125.58㎡
- 建ぺい率 23.8%
- 容積率 38.2%

お施主さんからの依頼内容

生活を豊かにする、いろんな空間が欲しい!

- ・美術品を多く所蔵しているので、保管し、飾れる場所が欲しい
- ・来客が多いので、駐車場がたくさん欲しい
- ・広い庭を活かした、開放的なリビングが欲しい

敷地は中川にほど近い新興住宅地の一角に位置し、あたたかい季節には、南東の風が敷地を斜めに吹き抜けていきます。北側にはマンションが隣接しているため、マンション側からのプライバシーを守りつつ、開放的な空間を目指して計画しました。

庭の広がり

インナーテラスを設けることで、庭を住宅内部にまで引き込むと共に、奥まで光を引き入れます。南北に短く、東西に長い敷地の特徴を活かし、東西に長いリビングダイニングとすることで、南の庭をより広く取っています。

大テラス

1階はゆったりとした空間にし、2階にはコンパクトに各部屋を配置しました。テラスは広々としており、開放的な空間となっています。南と東との庭とのつながりも確保しています。

風の流れ

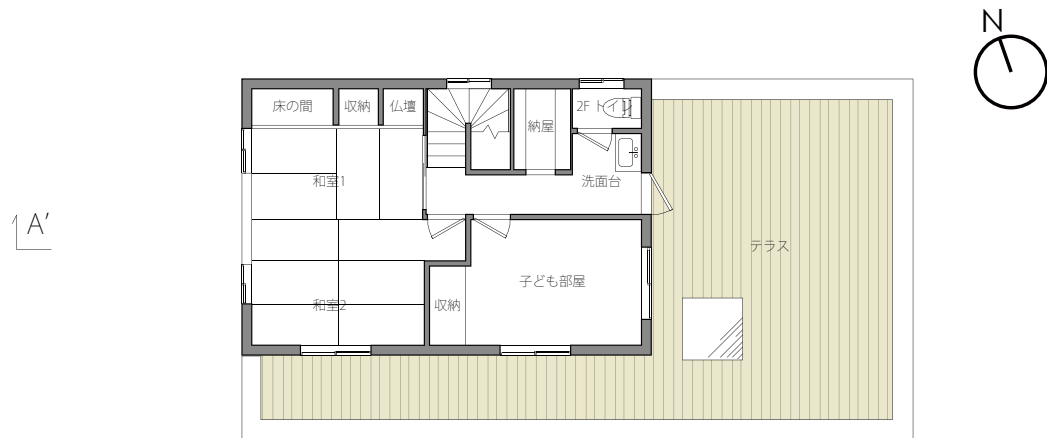
南北を短くし、インナーテラスを設けることで、南北への通風を確保し、1階の各スペースへ風が流れ込むように計画しています。



庭から、2階テラスをみる。
南側の広い芝生の庭は、愛犬と走りまわることのできるのびのびとした空間となっています。

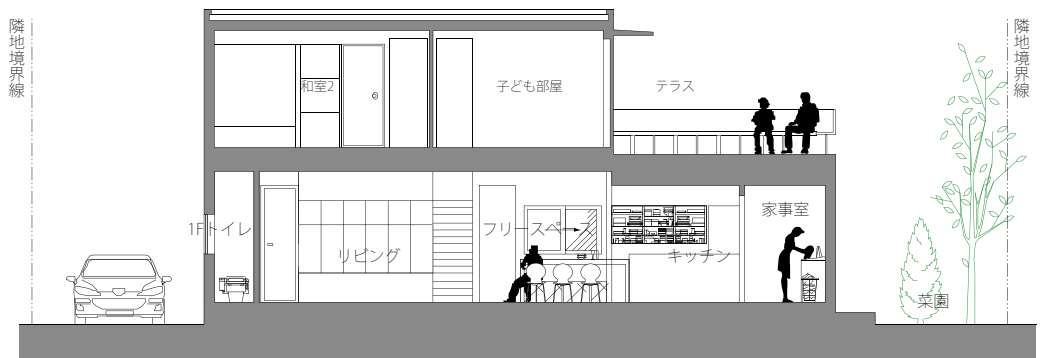
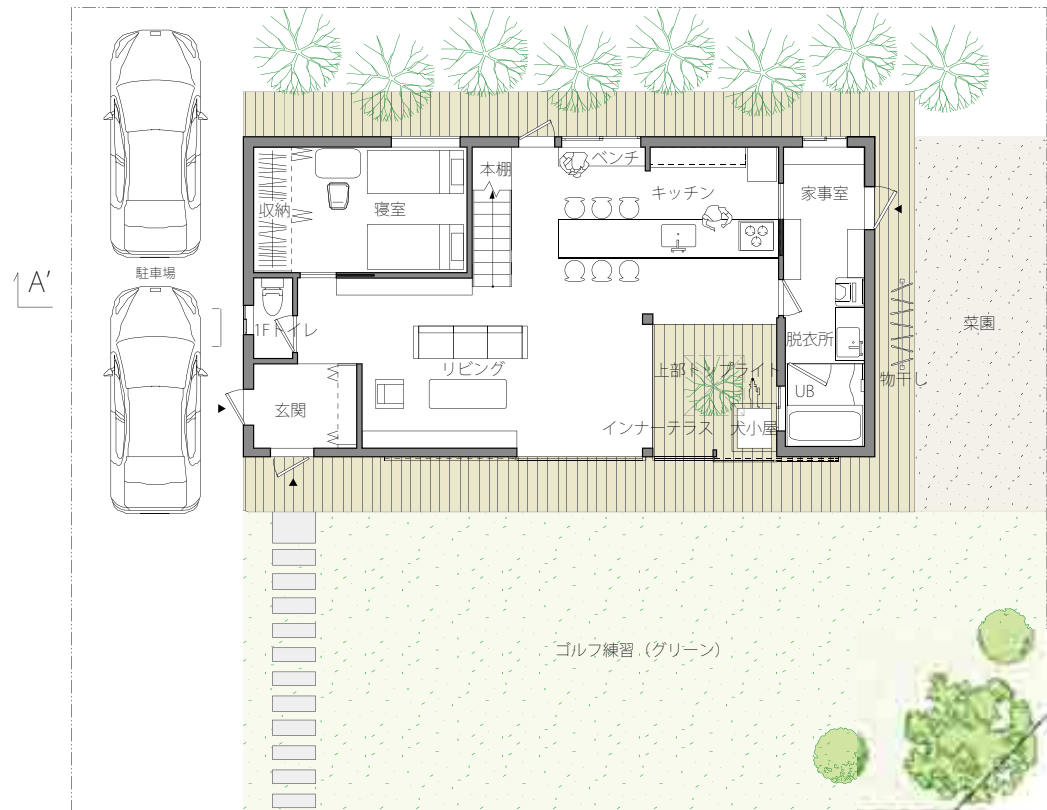


キッチンからフリースペースをみる。
インナーテラスが室内と一体となり、外の風を運んできます。



2階の大きなテラスは、本を読んだり寝転んだり、
家族みんなの憩いの場所になります。

家づくり
アイデア集





3つのテラスをもつ

風の通る家

信州大学 工学部建築学科
寺内研究室

- 植栽の植え方
- 垣・柵等の作り方
- 門・アプローチ・舗装等の作り方
- 屋外設備・工作物等の作り方
- 周辺と調和した色彩
- 壁面の位置
- 開口部・玄関等の作り方
- 外壁等の素材
- 縁側・テラスの作り方
- 軒先・庇の作り方
- 屋根並みの美しさ
- 屋内空間のつながり



都心の近くにありながらゆとりを持った暮しができる、そんな八潮らしい家。
川の近くにあることや細長い形状という敷地の特性を活かし、川風と煙突効果を最大限に取り入れました。
東西方向に細長い敷地なので、南面採光が多く取れる明るい内部空間になっています。

お出迎いのテラス

外から家の中へと続く空間を魅力的なアプローチ空間としました。ここは、応接や教室などに使うことも出来るホールとも一体となった広々とした空間となります。

公園とつながるテラス

このテラスからは敷地の北東にある公園を一望でき、遊んでいる子どもたちを見守ることが出来ます。さらに、庭に咲いた木の花、そしてその花の香りなどを季節ごとに楽しむことが出来る、とても気持ちのいい空間です。

眺望の屋上テラス

屋上テラスは、八潮の街はもちろん、東京スカイツリーまでを望むことが出来る特等席。また、このプライベートデッキは視線を気にせずに洗濯物を干すことも出来る、生活にやさしい空間でもあります。

Data



夫婦+子ども2人

- 敷地面積 163.7㎡
- 用途地域 第1種中高層住居専用地域
- 構造 木造3階建て
- 建築面積 90㎡
- 延床面積 139㎡
- 建ぺい率 54.9%
- 容積率 84.9%

断面模型

縦長の敷地の特徴を活かし、建物全体がスキップフロアで構成され、各室がゆるやかに繋がり、奥行きが感じられる空間になっています。



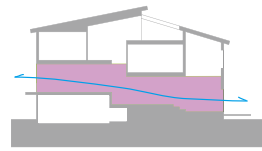
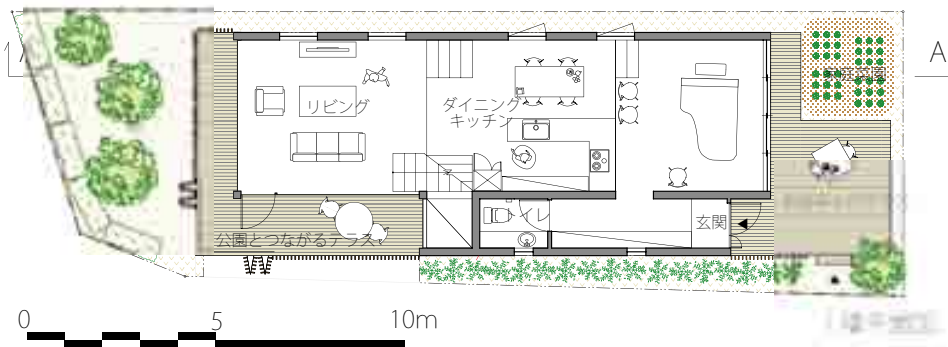
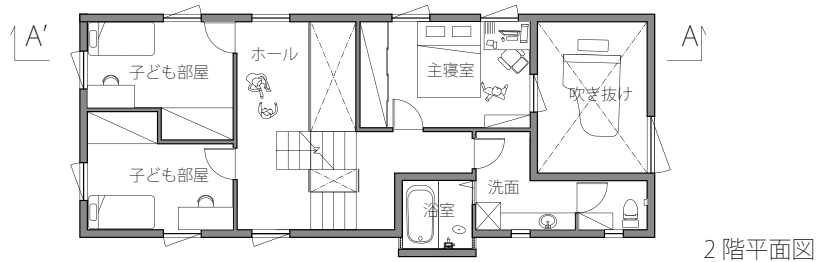
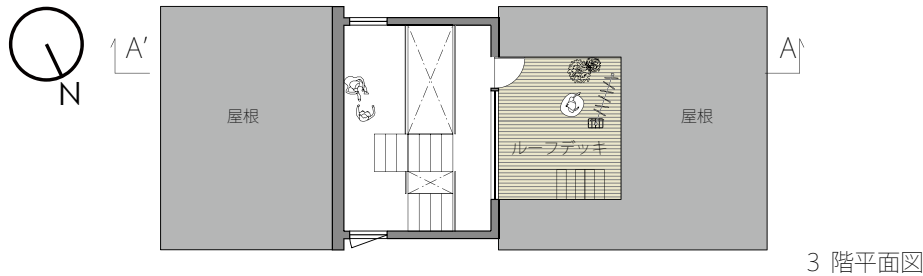
お施主さんからの依頼内容

風通しのいい家に!

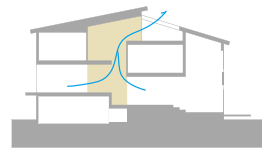
- ・川に近くて、広い敷地を活かして、風を感じられる開放感のある家に住みたい
- ・ピアノを気持ちよく弾けるスペースが欲しい
- ・家庭菜園で採れた野菜をテラスで食べたい



北側道路より、駐車場を見る。2階の窓には自然素材のルーバーが使用され家の表情を作り出しています。

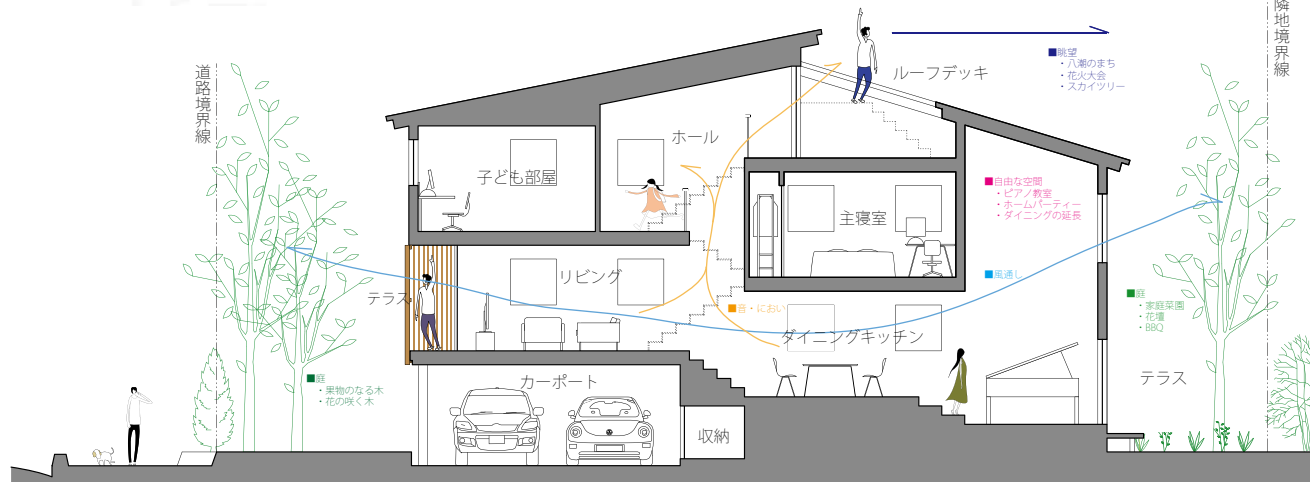
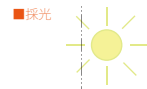


全体をスキップフロアで構成することで、ひとつひとつの空間がゆるやかにつながっています。



縦・横にできた2つの吹き抜けの煙突効果により、家の中には気持ち良い風が通り抜けていきます。その風は、ピアノの音色や季節の香りをやさしく運んでくれます。

ダイニングキッチンからリビングをみる。スキップフロアでつながった室内を、テラスからの風が通り抜けます。



A-A'断面図

リビングから公園とつながるテラスをみる。室内から公園の緑を眺め、四季の移ろいを感じることが出来ます。



